

## 令和2年度ダイオキシン類環境調査結果をお知らせします

市では、一般環境中のダイオキシン類の汚染状態を総合的に把握するため環境調査を実施しています。このたび、令和2年度の市内における大気、河川水質、河川底質、地下水、土壌のダイオキシン類環境調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

## 《大 気》

市役所屋上にて調査を実施したところ、年平均値で環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

調査年月日	調査地点	調査結果	環境基準
令和2年5月14日～21日	市役所第二庁舎屋上	0.015	年間平均で 0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下
令和2年7月9日～16日	〃	0.017	
令和2年10月8日～15日	〃	0.018	
令和3年1月14日～21日	〃	0.039	
年 間 平 均 値		0.022	

注) 測定は、「ダイオキシン類に係る大気環境測定マニュアル」(平成20年3月改定 環境省 水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室大気環境課) に準拠

## 《河川水質》

市内の代表的な河川の水質について調査を実施したところ、大落古利根川及び元荒川については、年平均値で環境基準を下回る結果となりました。新方川及び綾瀬川については、年平均値で環境基準を上回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/L)

調査地点	調査年月日	令和2年	令和2年	令和2年	令和3年	年平均	環境基準
		4月23日	8月4日	11月2日	1月19日		
新方川	昭和橋	1.9	2.9	0.73	0.37	1.5	年間平均で 1pg-TEQ/L 以下
綾瀬川	綾瀬川橋	1.1	2.6	0.66	0.48	1.2	
大落古利根川	ふれあい橋	0.68	0.47	0.50	0.82	0.62	
元荒川	中島橋	—	—	0.51	—	0.51	

注) 測定は、「日本産業規格K0312(2008)」に準拠

## 《河川底質》

市内の代表的な河川の底質について調査を実施したところ、全調査地点において環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/g)

調査地点	調査年月日	令和2年 11月2日	環境基準
新方川	昭和橋	11	150pg-TEQ/g 以下
綾瀬川	綾瀬川橋	5.9	
大落古利根川	ふれあい橋	5.6	
元荒川	中島橋	1.1	

注) 測定は、「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」(平成21年3月環境省水・大気環境局水環境課)に準拠

## 《地下水》

今年度は、市内1地点で地下水の調査を実施し、環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/L)

調査年月日	調査地点	調査結果	環境基準
令和2年 12月7日	増森一丁目	0.020	1pg-TEQ/L 以下

注) 測定は、「日本産業規格K0312(2008)」及び「平成12年4月26日付け環水企第231号の通知」に準拠

## 《土壌》

今年度は、市内1地点で土壌の調査を実施し、環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/g)

調査年月日	調査地点	調査結果	環境基準
令和2年 11月20日	弥十郎	0.50	1,000pg-TEQ/g 以下

注) 測定は、「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」(平成21年3月環境省水・大気環境局土壌環境課)に準拠

## 《今後の取り組み》

令和2年度に実施した河川水質の測定において、新方川及び綾瀬川が年平均値で環境基準を上回ったため、令和3年度(2021年度)も年に4回の測定を実施する等、一般環境中のダイオキシン類のモニタリングを実施すると共に、他関係機関との連携を図り、情報の収集に努めてまいります。

〈問い合わせ先〉 環境政策課  
電話 963-9186(直通)